

昭和十五年、の世相

兵力動員と急激に拡大する軍需産業の労働力増大で、労働力不足が深刻化する。

三十六年のベルリン オリムピック記録映画「民族の祭典」、「美の祭典」が封切られる。

邦画では「宮本武蔵」・「しなの夜」・「小島の春」などの他、「燃える大空」・陸軍機械化部隊出動の「西住戦車長伝」などが封切りされ戦意を高揚する。

他に「紀元二千六百年」・「誰か故郷を思わざる」・「暁に祈る」・「湖畔の宿」・「蘇州夜曲」・「隣組」・「新妻鏡」・「月月火水木金金」などの戦意向上の歌や映画が流行する。

また、「国民服」や「贅沢は敵だ」の言葉が流行する。

「あのね おっさん わしや かなわんよう」の台詞が皇国精神に反するとして禁止される。

昭和十六年の世相

日本を巡る国際情勢は、めまぐるしく展開して行った。

四月、ドイツからの帰途、松岡外相は、日米戦争を予測してモスクワで日ソ中立条約を結んだ。

しかし、この時にはドイツは日本にことわりなしにソ連に対する戦争準備を進めていた。

そして、六月、ドイツ軍がソ連に侵攻すると、松岡外交は崩れた。

政府・軍部は南進か・北進かで迷い、七十万の兵力を中国東北に集結したが、ドイツが思わしくないので、ソ連進攻を中止し、南部仏インドに兵力を進めた。

これは、日米交渉を決定的な破局を招き、アメリカは在米日本資産の凍結を実施した。

九月六日、御前会議は対米英蘭開戦を決定、十二月八日に開戦に雪崩れ込んだ。

日本軍の進撃は目覚しく、十二月下旬までに、東南アジアに対する橋頭堡が出来上がった。

この年、政府が掲げた「大東亜共栄圏」建設の夢はまさに成るかに見えた。